

公益社団法人 私立大学情報教育協会
サイバーキャンパスコンソーシアム
第1回 生物学グループ運営委員会 議事概要

I. 日 時 平成24年6月29日(金) 10:00~12:30
場 所 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室

II. 出席者 伊藤委員、須田委員、佐野委員 (事務局 井端、森下、平田)

III. 検討事項

11月に発刊する刊行物について、目次をもとに骨子の説明を行った後、昨年度まとめた学士力(コアカリ)実現に求められる教育改善モデルを実現するための教育力について、今回と次回委員会2回で文章化することにし、教育力を検討する経緯や背景について事務局より説明した後、今回は「生物学教員の教育力」のうち、生物学教員に期待される専門性についてまとめた。

1. 刊行物の目次確認

刊行物はICTを活用して未知の時代を切り拓く教育を展開できないかという提案で、2章は、昨年度までの学士力はアンケート用に短くまとめたので、さらに説明を加えてわかりやすくする。3章は、学士力に求められる情報活用能力を別途、情報教育委員会でのまとめを入れる。1章は、2章や3章を総論となることを事務局より説明し、本日の検討内容は、1章の5番目にある大学教員に求められる教育力と組織的取り組みとなっていることを示した。

2. 教育力まとめの背景、趣旨

モデルを説得力あるものにするためには教員としての努力が必要であり、FDの実施も含めて教員の努力としての戦略をどうするのかを今回と次回で検討し、教育力としてまとめることを確認した。

3. 生物学教員の教育力(生物学教員に期待される専門性)

授業改善モデルを実現するための教育力について検討する前に、生物学の教員に期待される専門性について整理することにし、使命観、倫理観、生命現象の把握、他分野との連携、社会の流れ、ICT活用能力といった視点から以下のようにまとめた。

【1】生物学教員に期待される専門性

- ① 生物とそれを取り巻く環境に関連する問題解決に使命感と倫理観を持ち貢献できる専門家であること。
- ② 細胞レベルから生態系レベルまでの相互関係を含めた生命現象を複眼的・統合的に捉えられること。
- ③ 生物や環境について自然・人文・社会科学分野と協働して発展的に研究および活動できること。
- ④ 生物学的実証に基づいた客観的な論理性を有していること。
- ⑤ 生物学が現代社会の諸問題に適切に対処する上で重要なことを気づかせ、興味関心を抱いて主体的に取り組ませられること。
- ⑥ ICTなどの教育技法を駆使して、参加・発信型の教育ができること。

3. 次回委員会

次回は7月13日(金)10:00より開催することにし、生物学教員の教育力の2番目の項目である、「教育改善モデル実現に求められる教育力」について引き続き検討することにした。